

## 中期目標（素案）

### （基本的な目標）

公立大学法人山口県立大学は、地域に貢献する知の拠点として、住民の健康の増進や、個性豊かな地域文化の進展に資する専門の学術を深く教授研究し、優れた知識や技能を有する人材の育成と研究成果の社会への還元を行うことにより、人々が生き生きと暮らす社会の形成に寄与するものとする。

### 第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

#### 1 中期目標の期間

中期目標の期間は、平成18年4月1日から平成24年3月31日までとする。

#### 2 教育研究上の基本組織

（略）

### 第2 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

#### 1 教育に関する目標

##### （1）教育の成果に関する目標

教育を重視する大学として、次に掲げる教育の成果が着実にあがるよう、各教育の課程や卒業後の進路に係るより具体的な目標を定めるとともに、その達成度を把握することができるようにする。

##### ア 学部教育

全学共通教育（基礎教養教育）においては、国際的視野に基づく豊かな教養を培い、地域社会の問題解決姿勢や能力の基礎を養う。

学部専門教育においては、専門知識や技術の修得を促し、高度な専門性を備えた実践能力を養成する。

##### イ 大学院教育（修士課程）

国際文化及び健康福祉に係る理論的応用的な教育研究を展開し、地域社会における課題解決能力を有する高度専門職業人の育成を行う。

## ウ 大学院教育（博士課程）

高齢化の進行等に伴う地域の健康福祉課題の解決に向け、福祉、栄養、看護の分野において地域社会を牽引する高度な研究能力を有する研究者、指導者を育成する。

## （２）教育内容等に関する目標

### ア 学生の受入れ

大学の教育目標を理解し、地域や大学の活性化をもたらす学生を積極的に受け入れるため、大学が求める学生像や求める能力、適性等を明確にした入学者受入方針を定め、受験生等に対し積極的な情報提供を行うとともに、受験生の多様な個性や能力を適切に評価する選抜方法の開発を行う。

### イ 教育課程

大学がその個性を發揮しつつ、教育目標をより効果的、効率的に実現することができるよう、到達目標の一層の明確化を図るとともに、「人間理解力、語学力、地域理解力」や、「学部間、学部と大学院間の連携」などを重視した新たな教育課程の開発を行う。

### ウ 教育の方法等

大学が与える知識、能力の証明である単位及び学位の通用性を高めるため、学生の主体的な学習を促し十分な学習時間を確保するための新たな仕組の導入や、学習内容及び成績評価基準の一層の明確化、卒業要件の見直しなど、単位及び学位に相応する内容ある教育の確実な実施に資する取組を進める。

また、学生の多様な学習ニーズに対応した新たな教育方法の導入に取り組む。

## （３）教育の実施体制等に関する目標

### ア 教職員の配置等

教育課程を適切かつ効率的に遂行するとともに、地域社会のニーズに柔軟に対応するため、教職員の弾力的な配置や、学生収容定員の見直しに取り組む。

### イ 教育活動の質の改善のための仕組の整備

大学の教育能力の向上を図るため、教員の授業内容、授業方法、教育課程等の改善に資する研究、研修を組織的に行う。

## 2 学生への支援に関する目標

多様な学生の資質、能力を十分発揮させるとともに、その安全、安心の確保を図るため、学生の学習や生活、就職等に係る支援体制の強化と支援内容の充実に努める。

## 3 研究に関する目標

### (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

住民の健康の増進や地域文化の進展、世界に開かれた交流活動の活発化に資する調査研究に積極的に取り組み、その成果の普及に努める。

### (2) 研究実施体制の整備に関する目標

基礎、基盤研究の推進を尊重しつつ、地域社会が抱える課題の解決に向けた研究に重点化が図られるよう学内の研究体制を整備する。

また、他大学、市町村、民間企業等との連携による共同研究など大学の研究能力の向上につながる取組を進める。

### (3) 研究活動の評価及び評価結果を研究の質の向上に結びつける体制の整備に関する目標

客観的な評価体制の確立を図るため、研究評価の実施体制を整備する。

## 4 地域貢献に関する目標

地域共生センターを窓口に、大学の総合力を活用して、地域社会への貢献活動を積極的に展開するとともに、社会人が大学で学習しやすい環境づくりや高校と大学との円滑な接続に資する新たな取組を進める。

また、郷土文学資料センターを拠点とした地域文化の振興に積極的に取り組む。

## 5 国際交流に関する目標

世界に開かれた大学として、海外の大学との交流を深め、その成果を広く地域社会に還元する。

また、国内外の国際機関や非政府組織、県内の国際交流団体等との連携を図り、県民の国際理解に資する取組を進める。

### 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

(略)

### 第4 財務内容の改善に関する目標

(略)

### 第5 自己点検、評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

#### 1 評価の充実に関する目標

教育とその基礎となる研究等の質の向上に資するよう、「教職員の自己点検評価」、「学生による授業評価」、「卒業生あるいは就職先等の評価」、「認証評価機関の評価」等の多様な手法を取り入れた評価の仕組みを整備する。

#### 2 情報公開等の推進に関する目標

教育研究活動や地域貢献活動の状況など、大学の活動を適時適切に、わかりやすく公表する。

地域ニーズの把握や大学情報の発信に当たっては、同窓会との連携に努める。

### 第6 その他の業務運営に関する重要目標

(略)